

西北地域県民局地域農林水産部 つがる家畜保健衛生所
津軽地方家畜衛生推進協議会

つがる市木造若竹2-1 TEL 0173-42-2276 FAX 0173-42-6087

冬シーズンに向けて 豚流行性下痢(PED)防疫対策の再徹底!

本病は、年々発生件数が減少していますが、一部の県で散発的に認められ、過去3年間をみると、気温の低下する10月以降に発生が増加しています。

飼養衛生管理基準を順守しウイルスの侵入防止対策を徹底して下さい。

主な対策



- **衛生管理区域内に必要なない者を立ち入らせない**

- **入場車両及び人の消毒**

農場入口に設置した消毒施設で、タイヤ（溝を含む）、タイヤハウス、荷台、運転席（マット、ペダル、ハンドル等）、車両全体を念入りに洗浄・消毒。

- **農場専用の衣類と長靴を準備**し、衛生管理区域に立ち入る際に着用

- **長靴、手指等を頻繁に洗浄・消毒**

- **入場者の記録を徹底**

- **導入豚の隔離**

導入元での疾病発生状況を確認。2～4週間は隔離するようにし、隔離出来ない場合は可能な限り既存の豚群から離し、健康状態を観察。

- **野生動物との接触防止**

飼料の露出等、野生動物を誘引する環境を作らない。

- **食品残さ利用飼料の適正な処理**

70℃・30分以上または80℃・3分以上の加熱

- **ワクチン接種の徹底**。集団的な免疫を確保。



毎日の健康観察をより丁寧に行い、異常が確認された場合には
すぐにご連絡ください。

連絡先：つがる家畜保健衛生所
(土日休日緊急用携帯)

0173-42-2276
090-8788-7459)

家畜飼養者の皆様へ

★★車両などを消毒する際の注意点★★

病原体の農場への侵入を阻止できるのは飼養者の皆さん自身です！
特に次の点に注意して車両などの消毒を徹底してください。

ポイント1 専用の長靴と作業服を使用する。

- ① 農場専用の長靴と作業服、と畜場等専用の長靴と作業服をそれぞれ準備する。
- ② 出荷に使った手袋、長靴、衣類等は座席に乗り込む前に脱ぎ、消毒する。（長靴は靴裏をしっかりと洗浄後、消毒）



ポイント2 運搬車両の洗浄・消毒を徹底する。

- ①と畜場や市場などを利用した際は、必ず退場時に運搬車両を洗浄し消毒する。
- ②あおり（荷台側板）など、プラットホーム等に接触した場所は特に注意する。
- ③タイヤは、動力噴霧器で溝やダブルタイヤの間、タイヤハウス、泥除けを中心に念入りに洗浄・消毒する。（泥や糞をしっかりと落としてから消毒する）
- ④農場に戻った際にも、必ず入口での車両消毒を徹底する。



ポイント3 運転席、手指消毒を必ず行う。

- ①車内の運転席マット、ペダルも忘れずに消毒を行う。
（手押し式噴霧器の携帯が効果的）
- ②作業ごとに、こまめに手指洗浄・消毒を実施する。



ポイント4 消毒剤は対象に応じて適正な濃度、頻度で使用する。

- ① 消毒剤（逆性石けん液）を 500 倍に希釈して使用する例。
水 10 L に消毒剤 20 ml、水 100 L に消毒剤 200 ml を入れる
- ② 消毒剤は汚れたらこまめに交換する。（泥や糞が入ると消毒効果は低下）

つがる家畜保健衛生所
携帯

0173-42-2276

090-8788-7459（夜間、休日）